

佐渡市立金井小学校



学校データ

【学級数】

16 学級

【児童生徒数】

357 人

【地域コーディネーターの有無】有

地域とともに歩む大好きな学校づくり

1 はじめに

当校は、佐渡市のほぼ中央に位置し、数多くの史跡や伝承が残され、今も教育や文化を大切にする風潮が息づいている。また、島内にはその道の専門家が数多く在住し、未来の佐渡を支える子どもたちに惜しみない協力をしてくださる。

そうした地域の教育資源を積極的に活用することを「地域とともに歩む大好きな学校づくり」の具現化の第一歩として取り組んでいる。

地域人材と教育活動を結ぶ窓口が「金井小サポーターズ」である。「学び」「安全」「環境」の3つの学校支援グループから編成し、全保護者と地域を対象に募集した。これまでも学校の教育活動にご協力いただいた方々を人材バンクに登録してきたが、広くサポーターを募ることで、様々な経験や特技のある方がいることが分かった。

地域連携担当と地域コーディネーターの連携により、教育活動と地域人材の結び付きが強化され、子どもたちの学びの充実へとつながっている。



金井小サポーターズの皆様

2 取組の実際

(1) 地域の思いや願いとともに創る教育活動

①地域を学ぶ秋遠足

地域を探検し、地域を学ぶ遠足を企画した。地域コーディネーターとともに子どもたちに学ばせたい地域の「自然」「文化」「歴史」「伝統」をピックアップし、それをつなぐコースを学年ごとに設定した。



地域の宝を見学

②ハートフルアクション

ハートフルアクションとは、金井小・中学校と地域が一緒になって町を花できれいにしようとする毎年行っている「植栽活動」である。花の苗は、佐渡総合高等学校に進学した当校の卒業生が育ててくれている。地域に支えていただいていることに感謝するとともに、地域のためにできることを行う活動である。

③佐渡認証米とわらじ作り



田植え体験

5年総合では、「佐渡認証米作り」「わらじ作り」を行った。佐渡の米作りに誇りをもち、子どもたちに伝えたいという願いをもつ農家の方に指導していただき、「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」で優

秀賞をいただいている。子どもたちは佐渡の米作りにいっそう誇りをもって取り組んでいる。また、サポーターズの地域に伝わる「縄緬い」「わらじ作り」を子どもたちに伝えたいという思いを生かして、その活動を行っている。

(2) 地域人材を活用した教育活動

①教科等における学習

生活科では、地域の獣医さんから動物とのふれあいを学んだり、「生き物がたり研究所」の協力を得て、地元の田んぼで生き物調べを行ったりしている。



獣医さんと動物体験



生きもの調べ

中学年の地域学習では、「鬼太鼓」「トキ」の学習を行っている。「鬼太鼓」は、地元の青年団や太鼓体験交流館、鼓童研修生と連携し、本物に触れる体験、学習発表会での発表を行っている。トキを中心に生き物との関わりを学ぶ活動では、環境省自然保護官や県自然環境センター職員の方の指導の下、地域の豊かな自然環境を実感している。

6年総合「職業語り」では、様々な職業の方を講師として招聘している。それぞれの職業や、佐渡で働くことに誇りをもっている様子を知るとともに、伝統や地域の産業を守り続けることの大切さを学ぶ機会となっている。

②特別活動における外部講師

クラブ活動では、13のクラブのうち、11のクラブを外部講師が担当している。百人一首など地域で活動されている方の指導により、楽しく充実した活動となっている。

また、マーチング指導では、その経験

のある学びサポーターを講師に招き、隊形移動等の指導もしていただいた。本格的な指導により、運動会でのすばらしい発表につながった。

3 成果と課題

及び本実践で育成された資質・能力

サポーターズとの結び付きにより、子どもたちの学習への意欲の高まり、学びの充実が図られた。

また、地域と連携した行事の工夫により、「佐渡や地域のよさを実感できた」とする児童の割合が増えた。秋遠足ボランティアの方からは、「地元のことをよく知ってもらえるいい機会であった」と高評価をいただいた。

金井小サポーターズの募集は、学校が求める支援の周知につながった。そして、地域・保護者の方の思いと教育活動をつなぐことができたことで、地域の方の願いの実現と子どもたちの学びの充実を同時に叶えることができた。

4 おわりに

子どもたちのためにと力を貸して下さる地域の皆様のおかげで、これまでの教育活動がより発展的に展開された。「地域とともに歩む大好きな学校づくり」の第2歩は、育ってきた子どもたちの心情をもとにした地域貢献の活動を充実させることである。